

Universal Flute Orchestra Japan

ユニバーサル

フルートオーケストラジャパン

第5回定期演奏会



《音楽監督・指揮・フルートソロ》

フィリップ・ベルノルド (パリ国立高等音楽院教授)

W.A.モーツァルト (編曲:川上肇)

歌劇『魔笛』より序曲 K.620

W.A.Mozart: "The Magic Flute" Overture K.620

W.A.モーツァルト (編曲:川上肇)

フルートとハープのための協奏曲 K.299

W.A.Mozart: Concerto for Flute, Harp and Orchestra K.299

C.ドビュッシー (編曲:川上肇)

交響詩『海』管弦楽のための3つの交響的素描

C.Debussy: La Mer, trois esquisses symphoniques pour orchestre

(ハープ)
アナイス・ゴドゥマール



2023.12/17 [日] 15:00開演 / 14:30開場

常翔ホール (大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー)

JR大阪駅 徒歩5分/阪急大阪梅田駅 徒歩3分

[入場料] 一般 4,000円 学生 2,000円 (当日500円増)

* 未就学児の入場はご遠慮ください。

[チケット取り扱い・お問い合わせ]

ユニバーサル フルート オーケストラ ジャパン

universalfutejapan@gmail.com <https://ufojapan.wixsite.com/universalfuteorch>

株式会社ドルチェ楽器

大阪市北区角田町2-7 ☎06-6377-1117 infod@dolce.co.jp

主催・特別協賛 | 株式会社ドルチェ楽器 共催 | ユニバーサル フルート オーケストラ ジャパン 後援 | 一般社団法人 日本フルート協会

協賛 | パウエル・フルート・ジャパン、三響フルート発売元(株)プリマ楽器、ミヤザワフルート製造株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン

楽器協力 | 古田土フルート工房

Philippe Belnord

フィリップ・ベルノルド (音楽監督・指揮・フルートソロ)

パリ国立高等音楽院を1等賞で卒業し、23歳でリヨン国立管弦楽団の首席奏者に就任。1987年ジャン=ピエール・ランバル国際フルートコンクールでの優勝を機に、ロストロポーヴィッチやランバルなど、著名なアーティストやオーケストラとの共演を果たし、国際的ソロとして活躍する。1995年にはThe Virtuosos of the Lyon Opera(リヨン・オペラ座の名手達)を結成する。それ以降、シンフォニア・ヴァルソヴィア、シモン・ポリビア・オーケストラ、パリ室内合奏団など多数のオーケストラの指揮を行うなど、活動の幅を広げる。2016年にはユニバーサル フルード オークストラ ジャパンの音楽監督・指揮者に就任。同年10月にはパリ・モーリスラヴェル音楽院にてフランスフルート協会主催第5回国際フルートコンベンションに同オーケを招聘ゲストとして招き、ファイナルコンサートで大好評を博す。2018年、スイス ジュネーブで開催された、ラ・コート・フルートフェスティバルにゲストとして招聘された。各地での演奏活動のかたわら、パリ国立高等音楽院の教授として室内楽科、フルード科で教鞭を取る。



Anais Gaudemard

アナイス・ゴドゥマル (ハーブ)

フランス生まれ。優れた若手音楽家で、世界を代表するハーブ奏者の一人。イスラエル国際ハーブコンテストで1位(2012年)、ミュンヘン国際音楽コンクールで2位およびミュンヘン室内楽賞、グシュタート山頂音楽祭でティエリ・シュルツ賞(2015年)など主要なコンクール、音楽祭で受賞している。2018/19の「ECHO Rising Star」に選出され積極的に活動するとともに、各地の主要劇場での定期的な演奏も欠かさない。最近ではミュルーズ交響楽団のアーティスト・イン・レジデンスとしてツアーに帯同する他、クラウディオ・アバド、レナード・スラットキン、大野和士、マリス・ヤンソンス等の指揮者の下、ルツェルン祝祭管弦楽団、ミュンヘン室内楽団、バイエルン放送交響楽団ほか著名なオーケストラとの共演も多数。ピエール=アドリアン・シャルピ、エステバン・ベンセクリなどの作曲家から曲の献呈を受けている。第18回イスラエル国際コンテストの際にハーブメーカーLyon&Healyから贈られた「Style 23 Gold Concert Grand Harp」を愛用している。



Universal Flute Orchestra Japan

ユニバーサル フルード オークストラ ジャパン

フルードオーケストラの新たな可能性と高度な音楽性を追求し、聴衆に感動を与えたいという意思を共有したプロのフルード奏者が集まり結成。ユニバーサルという名の通り、国内のみならず世界からも信頼を得られる演奏を目指し、音楽監督であるフィリップ・ベルノルド氏(パリ国立高等音楽院教授)とともにフルードオーケストラの域を超えた音楽に挑む。

2016年2月29日、創立記念演奏会を開催。同年10月23日フランス フルード協会主催 第5回国際フルードコンベンションに招聘ゲストとして招かれ、パリのモーリス・ラヴェル音楽院にて、モーリス・ラヴェル作曲 「ダフニスとクロエ」を演奏、また同ステージで世界的巨匠マクサンス・ラリュエ氏とW.A.モーツァルト作曲「フルード協奏曲」を演奏し、ファイナルコンサートをスタンディングオーベーションで飾る。両演奏会は、各方面でも高い評価を得て、毎日新聞紙、管楽器月刊専門誌パイプス、フランスフルード協会会報誌などに大きく取りあげられた。2017年、2019年日本フルードコンベンションに出演。

2017年11月第2回定期演奏会では、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団フルード首席奏者である、エミリー・バイノン氏をソロリストに迎え、イベールの作曲コンチェルトを共演。フルードオーケストラ版での世界初の全曲演奏となり、好評を博す。2018年10月、スイスフルード協会主催、ラ・コート・フルードフェスティバルに招聘されオープニングコンサートを任される。パリ国立高等音楽院 教授のソフィー・シェリエ氏をソロリストにイベールのコンチェルト、ラヴェルのダフニスとクロエ等を演奏。その他、スイスのラジオ番組に生出演。ヨーロッパで名を広く知られ、好評価を得る。2018年11月第3回定期演奏会、2019年11月第4回定期演奏会を開催。2020年(公財)神戸市民文化振興財団主催KOBEMUSICPORT〜秋の音楽祭〜にてファイナルコンサートを飾る。2021年11月Autumn Special Concertでは多久潤一朗氏へ新曲を委嘱「EAST×WEST」の世界初演を果たす。

近年はフルードオーケストラオリジナル作品やアレンジ作品を多数初演し、レパートリーを増やすことにも貢献している。



演奏会の模様はドルチェ クラシック チャンネルにより、音源・映像の双方を配信中
https://dolce-classic-ch.com/products/detail.php?product_id=28

コンサートマスター



植田 恵子

フルード



赤埴 尚子



塚本 糸里

アルトフルード



安藤 史子

バスフルード



山崎 たくじ

バスフルードinF



根石 照久

コントラバス



渡戸 由布子



生駒 温



橋本 恵菜



北井 久美子



井岡 郁子



葛城 郁也



樽井 美咲



窪田 香織



藤森 友香



三田 智美



高城 克枝



古田 勝市



松井 駿



久保田 裕美



西本 由香里



中野 幸代



中島 恵



山田 春佳



砂守 生子



山本 純子



樋上 裕子



宮本 正一



田中 理絵



山本 真帆



前 美芽



森 香緒里

編曲/アシスタントコンダクター



川上 肇
 1955年京都市出身。京都市立芸大卒業後ロンドンにてトランペットを学ぶ。第一回管打楽器コンクール入選。関西フィルハーモニー管弦楽団で30年にわたり演奏の後、現在は編曲家として各種団体に多数の作品を提供するとともに、吹奏楽、アマチュアオーケなどの指揮にもあたっている。

